

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書 23 章 26-43 節＞
イエス様の御受難の今日の個所で、特に見つめたい三つのこと。

1 キレネ人シモンは何のために記されたのか？

たまたまイエス様の十字架を負わされることになったキレネ人シモンのことがなぜ記し残されたのでしょうか？ それは、彼が後にキリスト者となって、この時のことを教会で証言したからです。予期せぬ災いに出遭ったシモン。しかし、それがイエス様の死を見つめさせ、その死が持つ意味を深く理解し、洗礼を受けてキリスト者になる道を与えてくれたのです。彼が見出したものを私たちも追いましょ。

2 どうして、「父よ、彼らをお赦してください」と言えるのか？

十字架にかけられて、主イエスが叫んだ第一声は、「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」(34)でした。新約聖書の中でも、私が一番感動する箇所の一つです。主イエスはなぜ自分を十字架につけて侮辱する人々のことを神様にこう祈れるのでしょうか。その理由を自分の頭で色々考えるよりも、むしろ、神様は彼らのことをこのように考えて下さる方なのだということをごここから受け取るべきなのです。それが聖書を読むということなのです。なぜなら、このことは旧約聖書からすでに言われている神様の重要な内容だからです(イザヤ書 53 章)。創造主なる神様はその方によって造られた私たちの思いをはるかに超える方だと思えば、その方がなされた行為を私たちが受け入れることから始めるべきでしょう。その行為こそ、罪人を赦されるという私たちにとっては驚きの行為であり、それを受け入れたときに全てが変わり出す行為であったのです。

3 受け入れる人と受け入れない人がいる。二人の囚人がその例。

イエス様と一緒に十字架につけられた囚人の話は何を言いたいのでしょうか。それは上の2と関係しています。第一に、同じ状況に置かれても、イエス・キリストの出来事に破格の憐れみに富む神様を見出してそれを受け入れる人と、そうでない人がいるという事実です。第二に、なぜ二つに分かれるのかについて人間の側の理由をいつまで考えていても仕方ないということです。見るべきは神様なのです！ その神様が示して下さっていることを深く理解したなら、こちら側の様々な理由は小さく思われてくるはずで。神様の破格の恵み(罪の赦し)を受け入れた囚人。その彼に答えられた主イエスの言葉が全てを表しています。